エントリー番号0123

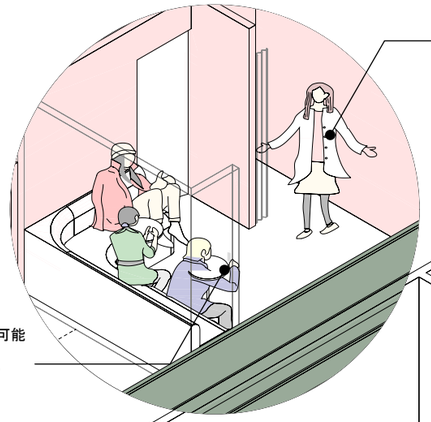
アパレール

− Appa Rail −

試着室に衣服がまわる娯楽空間

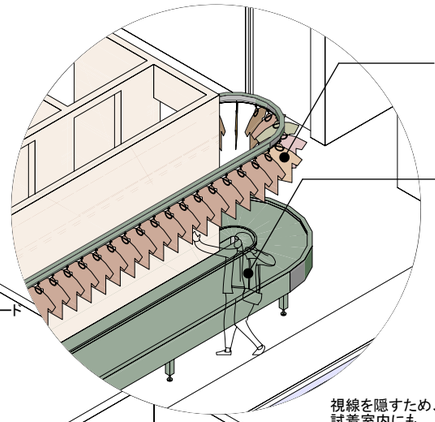
ファッションが好きな人たちはもとより、
試着に罪悪感がある人や、周りの目が気になる人、店員に声をかけられたくない人、
そういった人たちが気軽に試着して、自分好みの服を見つけられる
ファッションコーディネーション体験の提案。

試着室の面積を広くし、試着室の中を服のレールが回ることで
試着室にいながら、ゆったりと腰を落ち着けて、服を探すことが出来る。
カラオケボックスやゲームセンターのような、ファッション娯楽空間として
アパレールは新たな服の売り方として展開されていく。



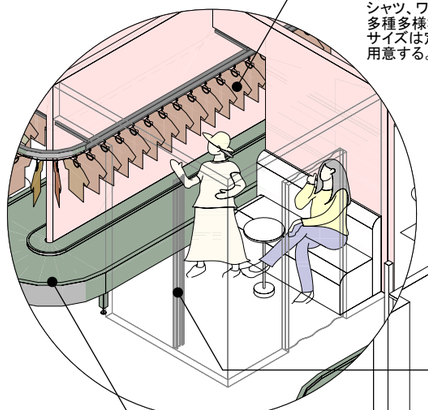
自分の靴や自宅の服を持参して
アパレールの服に合わせることもできる。

個室なので、スマホ撮影も可能
試着室なので、購入前でも
撮影し、SNSに投稿できる。



試着室のレールが予約街の人たちにも流れる。
別の試着室に入ったときに
別のレールを見ることもできる。

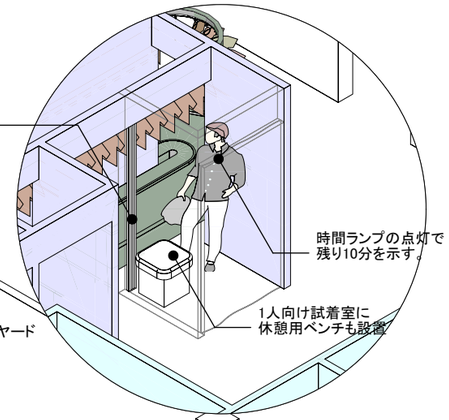
予約待ちの間も服を見ることができる。
カゴに服をいれておき、試着室に入った際に
着ることも可能。



服レール
シャツ、ワンピース、ブラウス等
多種多様な服が流れてくる。
サイズは定めず、なるべく種類を増やした服を
用意する。サイズ交換の際は店員に交換してもらう。

友達同士でも着替えられるよう
試着室内にもカーテンがある。

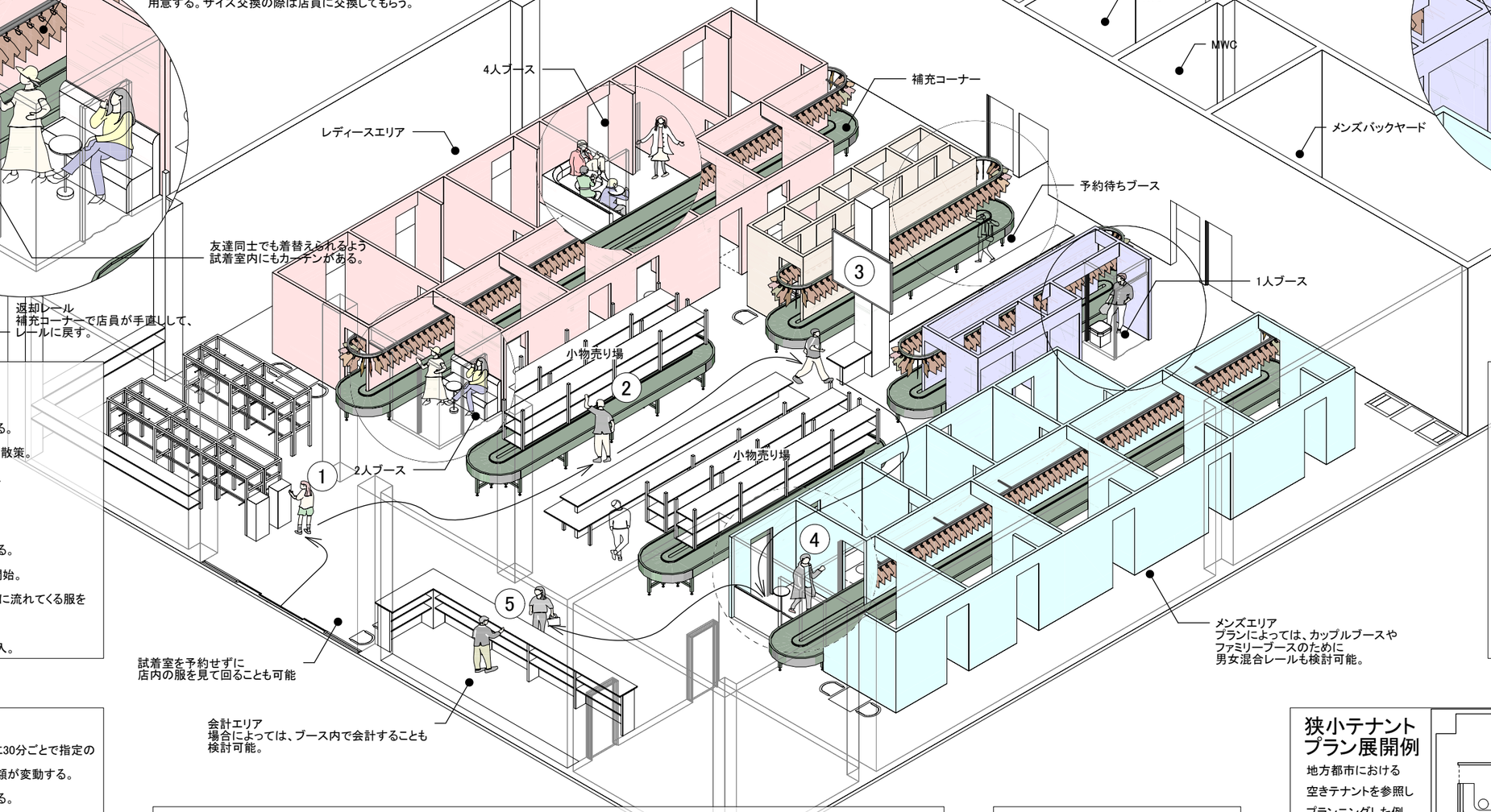
返却レール
補充コーナーで店員が手直しして、
レールに戻す。



視線を隠すため、
試着室内にも
カーテンを設置

時間ランプの点灯で
残り10分を示す。

1人向け試着室に
休憩用ベンチも設置



利用方法

① 入店したのち、予約券を発行。
予約券に予約番号が割り振られる。
② 部屋の予約が空くまで、店舗内を散策。
帽子やアクセサリー、服を見たり、
カゴに入れたりする。
③ 部屋が空いたらモニターに、
予約番号と部屋番号が表示される。
④ 指定された部屋に入室し、試着開始。
散策時の服を試着したり、レールに流れてくる服を
試着してファッションを楽しむ。
⑤ 購入品を持って会計に向かい購入。

運用設定・決済方法

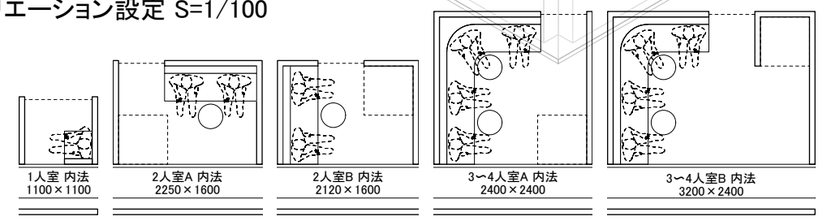
◯ハンガーの金額色分け
レーンに流れてくる商品は、パッと見で金額が
分かるように、ハンガーの色で大まかな金額が
把握できるようにする(白→黄→赤→青→紫)
◯陳列商品
パワーがある会社は1つのブランドで統一して
レールに服を並べることができる。
中小のブランドは、お互いの服を混在させ、
レールに多種多様な服を並べることができる。
◯防犯カメラとRFIDタグ
窃盗防止のため個室には防犯カメラを設置。
服にはRFIDタグにより防犯と在庫確認が可能。

料金設定

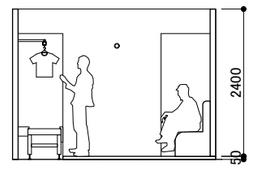
・個室料金:カラオケボックスのように30分ごとで指定の
料金が発生。その時間によって金額が変動する。
1人室と3〜4人室では料金が変わる。
→友達を呼んで、個室料金の分割したり、
団体で利用した方がお得になる。
・服の購入料金:単純な服の合計金額となる。
・個室料金の割引サービス:服の購入料金によって、
個室料金が割引される。
あと少しで割引されるときに1着多く買うなど、
購買意欲がそそられる。友達と一緒に買った方が
個室料金が割引されやすくなる。

プランのバリエーション設定 S=1/100

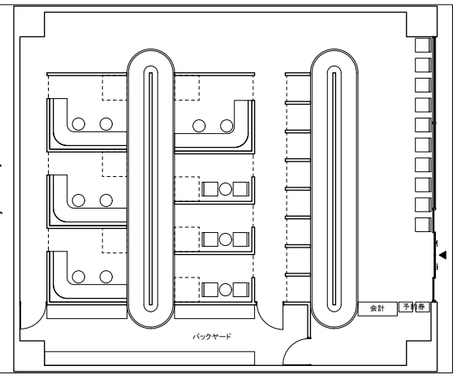
各個室のプランを
検討した。
右図を基本プランと
しつつ、狭小テナント
やブランドによって
空間の質や部屋の
広さを調整する。



個室断面イメージ S=1/100



3〜4人室B 内法h2400

狭小テナント プラン展開例

地方都市における
空きテナントを参照し
プランニングした例。
1ブロックのテナントに、
レーンと個室を配置す
ることでビルのテナント
にもアパレールを
設定することが可能。
地方の客層によって
個室の種類や
部屋数を調整できる。